



# 宮古地区 全校応援を受けて 夏季総体!

昨年以上の盛り上がり

4月28日に島内各地で行われた宮古地区改装号体育大会。昨年度に引き続き島内3校が全校応援を実施し、どの競技会場でも仲間への声援を送る姿が見られました。5月に県内各地で行われる県総合体育大会に向けて成果と課題を見いだせた有意義な大会となったのではないのでしょうか。県総体での各部の頑張りにも期待です!



**校訓**

- ・ 敬愛  
いつでも人を敬い、人を愛し、親しみの気持ちを持って接すること
- ・ 自主  
自分自身の意志や力で、判断、行動し実行すること
- ・ 創造  
自分の力で、他にはない新しいものを作り出すということ



# 令和6年度 県高校総体ものづくりコンテスト 工業生の活躍

吉永が王座奪還!

他種目に先がけ、宮古総合実業高校を開催地に先行開催となったボクシング競技。本校からは前嶋自機科1生と吉永自機科3年が闘いに挑みました。ライト級に出場した吉永は級友や本校職員、地元の大歓声を受けながら順当に勝ち進み、決勝でもこの勝ちを収め見事に優勝。6月20日から行われる九州総体、8月に行われる全国総体への切符を手に入れました。各大会においても闘志あふれる闘いに期待しています。



九州・全国派遣決定!



生徒会も活躍  
生徒会も運営に携わり大会の成功へ協力しました。



その他の種目も健闘

バスケットボール	1回戦 対 那覇商業	2回戦 対 興南	4976   5531
バドミントン男子	シングルス1回戦	伊良皆 対 坡座真八商工	0   2
バドミントン女子	シングルス1回戦	石川 対 城豊見城	0   2
ダブルス1回戦	奥原 対 照 屋宜野湾	0   2	
ダブルス1回戦	島袋平良 対 美来工科	0   2	
柔道	男子個人 81kg級	宮城 対 〇照屋沖尚	3位入賞
	男子個人 100kg超級	伊良波 対 〇新藤沖尚	3位入賞
ウエイトリフティング	男子個人 55kg級	与那覇 対 トータル	128kg 4位
	男子個人 89kg級	鈴木 トータル	166kg 5位
自転車	インディヴィデュアルロードレース	友利 時速32.767km	7位
	3kmインディヴィデュアルパーシユート	友利 時速42.6km	9位
	4km速度競争決勝	友利 5位	九州大会出場権獲得



### 校訓

敬愛  
いつでも人を敬い、人を愛し、親しみの気持ちを持って接すること

自主  
自分自身の意志や力で、判断、行動し実行すること

創造  
自分の力で、他にはない新しいものを作り出すということ



陸上

男子 100m	高江洲 7位	予選通過ならず
男子 200m	高江洲 6位	予選通過ならず
男子 400m	高江洲 5位	予選通過ならず
男子 800m	高江洲 7位	予選通過ならず
男子 1000m	高江洲 7位	予選通過ならず
女子 走り幅跳び	狩俣 15位	予選通過ならず

波平 雪辱を果たす3位入賞

6月8日に那覇工業高校を会場に行われたものづくりコンテスト旋盤部門。1年生の頃から出場し続け、最終学年の集大成として挑んだ波平自機科3年。前年度までは作品を作り上げることが出来ず悔しい思いをしていたが今年度はしっかりと仕上げ、結果は3位入賞。今後続くフライス盤職種へのコンテストに向け気持ちを新たにしました。校訓の「創造」を胸にものづくりの精神を磨いて下さい。



第24回全国高校生ものづくりコンテスト  
沖縄大会 旋盤作業部門



# 106回目のアツい夏開幕!

沖縄県高等学校  
野球選手権

梅雨も明けた6月22日、球児たちの熱い夏が今年もやってきました。毎年8月に阪神甲子園球場を舞台に熱戦が繰り広げられる全国高校野球選手権、通称「夏の甲子園」。第106回を数える甲子園への出場権をかけ沖縄県予選が県内各地の球場で行われています。宮古工業高校は宮古総合実業高校との連合チームで6月22日にユニオンですから！スタジアム宜野湾で八重山高校との離島勢対決に挑みました。結果は劇的な9回サヨナラ勝ち、2回戦進出を決めました。

昨年はそれぞれ単独チームとして大会出場を果たした両校ですが、今夏は再び力を合わせて連合チームとしての出場。

2回戦は7月の第1週、土日のいずれか6月30日の沖縄カトリック・北中城の結果により決定となっています。

応援に駆けつけることができなくても、インターネット配信などもあるのでぜひみなさんの声援で選手を後押ししてください。

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
八重山	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
宮古工・宮古総合実	2	0	0	0	0	0	0	0	1x	3



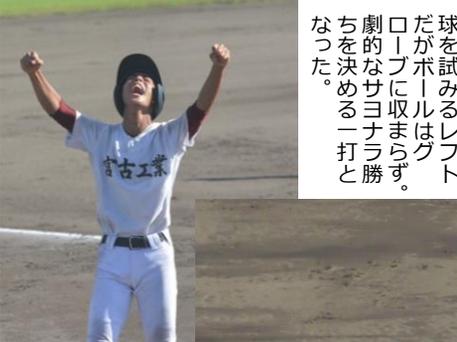
**校訓**

- 敬愛
- いつでも人を敬い、人を愛し、親しみの気持ちを持って接すること
- 自主
- 自分自身の意志や力で、判断、行動し実行すること
- 創造
- 自分の力で、他にはない新しいものを作り出すということ

**工業勢、攻撃で躍動!**

宮古総合実業高校3年、エース宮里はプロからも注目される右腕。そのエースを援護し見事勝利に繋げた連合チーム。初回には平良自機科3年が先制得点への口火となるセンター越えのツーベースヒット、続く砂川琉自機科3年もセンター前ヒット。後続も続き先制の2得点を奪うことで試合を優位に展開。

同点に追いつかれて迎えた最終回はセンター前ヒットで出塁した羽地総表を根拠電情科2年がしっかりと2塁へ送る犠牲バントを決めるなどそれぞれが自らの役割を果たした。



**平良 サヨナラ安打**

初回、先制点につながるツーベースヒットを放った平良。最終回となる9回裏にはワンアウトランナー1、3塁の絶好の局面で打席へ。初球は強振しファールとなるが続く2球目、捉えた打球は高々とレフト方向へ。背走しながらの捕球を試みるレフトだがボールはグロームに収まらず。劇的なサヨナラ勝ちを決める一打となった。



↑ライブ中継あります↓  
現地へ駆けつけての応援が難しくても左のQRコードを読み取りライブ中継で観戦することが可能です。  
ぜひ、皆さんの声援で野球部の皆さんの頑張りを後押ししてあげてください!

めがせ甲子園!  
QRコード

バーチャル  
高校野球  
QRコード



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
宮古工・宮古総実	2	0	0	3	0	0	0	2	0	7	15	0
北中城	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	8	1

# まだまだ続くアベツい夏ベスト16!

## 沖縄県高等学校野球選手権2回戦

劇的なサヨナラ勝ちから2週間、野球部の快進撃が続いています！  
7月7日に沖縄セルラースタジアムで行われた2回戦、相手は初戦をコールド勝ち、打線好調で勢いに乗る北中城高校。そんな北中城高校のお株を奪う打撃力で打ちも打つたり15安打を守っては、失策0で相手打線を2点に抑え、7-2で勝利し3回戦へと駒を進めました。  
初回、ヒットで出塁した先頭打者の池間総実を2番平良自機科3年がすかさず送りバント。続く3番砂川琉自機科3年が放った打球はライト前へ。ホームでのタイミングはアウトだったものの、相手捕手の落球もありラッキーな形で先制点。さらにホームへの送球間に2塁へ進塁していた砂川を4番新城総実がタイムリーヒットで返し2点目のホームイン、1回戦同様有利な展開に。  
その後は、4回に3点、8回に2点と、先制・中押し・タメ押しで常にゲームの主導権を握り、勝利をものにしました。



### 校訓

・敬愛  
いつでも人を敬い、人を愛し、親しみの気持ちを持って接すること

・自主  
自分自身の意志や力で、判断、行動し実行すること

・創造  
自分の力で、他にはない新しいものを作り出すということ

1回戦から2回戦までの間隔が2週間、2回戦を勝ち上がり次戦の与勝高校戦までの間隔が1週間。今後、勝ち上がるにつれて試合間隔が短くなっていくトーナメント戦。投手の起用方法や疲労具合への配慮も試合の鍵を握ることになりそうです。2回戦では最終の9回に砂川琉自機科3年がマウンドに上がり3人の打者を完璧に抑えました。

### 砂川、今大会初登板!

チームには、9回の守りでセカンドの守備についた友利電情科3年、も下手投げの投手として控えており、エースの宮里総実を支える投手陣として力を合わせて次戦にも挑んで欲しいと思います。



めがせ甲子園! QRJ-ド

バーチャル 高校野球 QRJ-ド

↑ライブ中継あります↓  
現地へ駆けつけての応援が難しくても左のQRコードを読み取りライブ中継で観戦することが可能です。  
ぜひ、皆さんの声援で野球部の皆さんの頑張りを後押ししてあげてください!

### 次なる相手は 与勝高校

ベスト8入りを懸け戦う次戦の相手は与勝高校に決定しました。1回戦をコールド勝ち、2回戦では昨年の県大会でベスト4入りをしている宮古高校を雨天による継続試合の末に破り3回戦進出を決めました。  
3回戦は7月13日(土)沖縄セルラースタジアム那覇において第3試合14時開始予定となっております。  
どのチームが相手でも1・2回戦のようにそれぞれが役割を果たし一生懸命に輝く姿に期待しています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
宮古工業 宮古総実	0	0	0	2	2	1	0	0	1	6	8	2
与勝	0	0	0	7	1	0	1	1	X	10	10	4

# よく頑張りました! アツいなかでの総力戦!

## 沖縄県高等学校野球選手権3回戦

連日暑い日差しが照りつける今年の夏、7月13日(土)に宮古工業・宮古総実の連合チームがベスト8入りを懸けて与勝高校との3回戦に挑みました。序盤は、お互いに得点を挙げられずにスコアボードに0が並びますが、4回から試合が動き始めます。宮古工業・宮古総実の連合チームの攻撃で4番新城(総実)がレフトオーバーのツーベースヒットで出塁、次打者宮里総実の内野ゴロで相手の守備の乱れもあり先制点を挙げます。さらに、送りバントで3塁まで進んだ宮里が内野ゴロの間に生還し2点目。1、2回戦同様先制点を挙げ勝ちパターンへと展開。

しかし、先制点を挙げた直後の4回裏、エース宮里にアクシデント。1死ランナーを1、2塁に背負ったところで右肘を痛め緊急降板。宮里を攻めあぐねていた与勝高校は一気呵成と言わんばかりに怒濤の攻撃を見せ、宮古工業・宮古総実の連合チームは守備のエラーやランニングホームランなどで7点を奪われ逆転を許してしまいます。その後は、追い上げを見せませんが試合をひっくり返すことが出来ず6-10でベスト8進出とはなりません。



### 校訓

敬愛  
いつでも人を敬い、人を愛し、親しみの気持ちを持って接すること

自主  
自分自身の意志や力で、判断、行動し実行すること

創造  
自分の力で、他にはない新しいものを作り出すということ

3年生全員が出場

過去の秋大会はお互いに単独チームとして出場を果たした宮古工業と宮古総実の両校ですが、多くの大会を連合チームとして出場し、結果力は他の単独チームに引けをとらないほど。

今大会も勝ち上がりにつれ士気は上がり、最後は3年生全員がグラウンドに立ち3時間超えの熱戦を繰り広げるまさに「総力戦」といった闘いになりました。今後はそれぞれの進路活動や次なる目標に向けて熱いパッションを胸に頑張ってくださいと思います。

### 過去16年で最高成績

県高野連の記録を確認したところ、平成21年の第91回大会から今大会までで宮古工業単独、宮古総実との連合チームとしての出場を含め夏の選手権2勝は過去16年間で最高成績です。

さらに3試合全てで先制得点を挙げ、勝利した1、2回戦は無失策。多くの時間をともにし、鍛え上げた技術や精神力がチーム力が発揮された大会となつたといえるのではないでしょうか。

選手、監督、声援を送ったたくさんの方々、熱い中本当にお疲れさまでした。

# 宮古工業生 全国大会で輝け!

第19回若年者ものづくり競技大会

ものづくり競技大会

8月1日から2日にかけて栃木県宇都宮市において第19回若年者ものづくり大会フライス盤競技が開催されました。宮古工業高校から、波平拓真(自機科3年)が出場を果たし、全国各地からの出場者とともに、日頃磨いた技術を駆使して作品を仕上げました。惜しくも入賞とはなりませんでした。が、時間内に作品を仕上げ、審査に提出するという目標は達成することが出来ました。

ものづくり競技大会とは...

若年者ものづくり競技大会は、職業能力開発施設、工業高等学校等において技能を習得中の原則20歳以下の企業等に就職していない若年者に対して技能レベルを競う場を提供することにより、これら若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的として、平成17年から開催されています。(協会より)

フライス盤競技は、高校を卒業し、専門学校や能力開発大学高などに通う競技者を含め23名で競われ磨いた技術を競い合いました。



フライス盤とは...

フライス盤は、ものづくりの現場で活躍する重要な工作機械です。フライス盤による加工は、材料を前後・左右・上下に動かし、回転している切削工具で行います。フライス盤は金属の「平面加工」「溝加工」「段加工」「穴加工」などの加工が得意で、平面の組み合わせによる立体形状の機械部品を0.01mm単位の精度で加工します。機械は、1つの部品だけでは機能せず、部品の組み合わせで機能を発揮します。そのため、寸法精度がとて重要となります。

競技では、フライス盤を使用し「六面体長方体」「直溝工下ミルという工具による切削加工」などで構成された課題を競技時間内に作製し、各部品の寸法精度を組み合わせ精度や出来栄を競う競技。競技課題は事前に公表されるため、選手はあらかじめ加工工程や作業時間の配分などを検討し、必要となる切削工具や測定器具、作業工具を準備し競技に臨みます。(中央職業能力開発協会より引用)

## 校訓

敬愛  
いつでも人を敬い、人を愛し、親しみの気持ちを持って接すること

自主  
自分自身の意志や力で、判断、行動し実行すること

創造  
自分の力で、他にはない新しいものを作り出すということ

## 全国高等学校総合体育大会

「駆け上がれ夢の舞台へ燃え上がれ若人の魂」のスローガンのもと北部九州総体が福岡県を中心に行われ、各競技で熱戦が繰り広げられました。

夏季大会は30種目が行われ、各都道府県、各ブロックを勝ち抜いた選手が集う高校スポーツ最大の祭典に宮古工業からはボクシング競技ライト級に吉永玲輝自機科3年が出場しました。

1. 2回戦を勝ち上がり、3回戦で惜しくも敗退してしまいましたが、初出場となる全国高校総体で堂々のベスト16入りを果たしました。

ボクシング競技  
SAGAサンライズパーク  
SAGAアリーナ

ライト級1回戦  
○吉永 5-0 江崎 徳島

ライト級2回戦  
○吉永 4-1 野呂 田福 井

ライト級3回戦  
●吉永 2-0 天井 瀬 新潟



OB(自機科)の比嘉大吾さん(元世界王者)もVTRで紹介されました!